

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施事業概要及び成果

No.	事業名	事業概要（計画時）	事業 始期	事業 終期	総事業費 (単位：円)	交付金関連 事業費 (単位：円)	臨時交付金 充当実績 (単位：円)	事業の進捗 状況・経過等	事業実施による成果
1	観光施設充実整備事業	<p>本来ウォータースライダーが整備されている「遊水公園うらら」には、町内外から多くの親子連れが訪れ、毎年賑わいをみせているところであるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客の減少につながり、隣接している妹背牛温泉ペルにも影響が出ている状況である。そこで、以前から利用者より要望が多かった飲食料品などの物販施設及び子どもたちがシャワー利用後に着替えが出来る更衣室を設置することにより、集客確保に努めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水道設備を完備した物販可能なテナントの設置費用</li> <li>男性用及び女性用の更衣室の設置費用</li> <li>物販販売に必要な備品購入費(冷蔵庫・冷凍庫等)</li> </ul> <p>販売所及び更衣室設置 2棟 17,039千円 備品購入費(冷蔵庫・冷凍庫) 105千円</p>	R3.5	R3.8	17,143,942	17,143,942	17,143,942	事業完了	販売所 1棟 更衣室 1棟
2	妹背牛商工会助成金	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食業、旅館業及び食料品小売業等は事業継続が大変厳しい状況。そこで、飲食業及び旅館業が町内の食料品小売業等から購入する食材等の必要経費に対して助成を行い、地域内で需要と供給の好循環を促すとともに、各飲食店等が独自のサービス向上に努め、集客確保を行い、地域経済の活性化を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>飲食業及び旅館業が町内の食料品小売業から営業に必要な食材等及び酒類の購入費用(消費税除く)に対して30%助成</li> <li>テイクアウトに必要な容器等を町内の小売業から購入した費用(消費税除く)に対して30%助成</li> <li>対象事業者の独自サービスを商工会がまとめて周知するチラシ印刷及び新聞折込料に対して助成。</li> </ul> <p>13店×50,000円×9ヶ月×30%=1,755千円 折込4,000円×9ヶ月=36千円</p>	R3.4	R4.2	3,466,424	3,466,424	3,000,000	事業完了	—
3	地域経済循環応援助成金	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食業、旅館業及び食料品小売業等は事業継続が大変厳しい状況。そこで、飲食業及び旅館業が町内の食料品小売業等から購入する食材等の必要経費に対して助成を行い、地域内で需要と供給の好循環を促すとともに、各飲食店等が独自のサービス向上に努め、集客確保を行い、地域経済の活性化を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>飲食業及び旅館業が町内の食料品小売業から営業に必要な食材等及び酒類の購入費用(消費税除く)に対して30%助成</li> <li>テイクアウトに必要な容器等を町内の小売業から購入した費用(消費税除く)に対して30%助成</li> <li>対象事業者の独自サービスを商工会がまとめて周知するチラシ印刷及び新聞折込料に対して助成。</li> </ul> <p>13店×50,000円×9ヶ月×30%=1,755千円 折込4,000円×9ヶ月=36千円</p>	R3.6	R4.2	1,845,300	1,845,300	1,845,300	事業完了	対象事業者14件中10件利用 助成総額 1,845千円
4	プレミアム付き商品券発行事業	<p>感染予防と社会経済を両立させる「新北海道スタイル」を実践する店舗を利用対象とし、地域における消費を喚起・下支えすることを目的にプレミアム付き商品券（15,000円分を10,000円で購入）の販売に対し、商工会へ必要経費を助成する。</p> <p>商品券4,000セット×5,000円（割増分）=20,000,000円 商品券印刷代60,000枚×10円×1.1=660,000円 宣伝費（町内及び周辺地域 折込料） 61,111円 配付用袋等事務費 20,735円 感染防止対策及び警備費用 95,154円</p>	R3.5	R4.3	20,711,060	20,711,060	16,734,660	事業完了	商品券発行総額 60,000千円 消費喚起効果額 59,646千円 発行総額60,000千円のうち99.41%が地域内で活用され消費喚起の目標が達成された。

5	修学旅行追加費用支援事業	<p>中学3年生の修学旅行は、東京方面に2泊3日の行程で実施する。そこで新型コロナウイルス感染症対策として、移動の際には公共交通機関などの利用は避け、大型バスを貸し切り、感染防止対策に努めることにより、学校行事に位置付けられている修学旅行の目的達成に寄与するもの。</p> <p>貸し切りバス（3日間） 481,320円  生徒15名、随行職員5名 計20名 @24,066円  うち対象：生徒分費用 15名×24,066円＝360,990円</p>	R3.9	R3.10	360,990	360,990	360,990	事業完了	<p>中学3年生保護者負担額  361千円軽減  感染防止のため公共交通機関の利用を避け、貸し切りバスによって無事感染者を出すことなく帰路についた。</p>
6	学校給食費全額免除	<p>コロナ禍による様々な要因から収入減少や在宅時間の増に伴う家計費の高騰等により、子育てを取り巻く環境は依然厳しい状況におかれている。そのため、小中学生を持つ子育て世帯に対し、給食費の助成を行い、家計費負担の軽減を図るもの。</p> <p>小学生 低学年 190食×24人×241円＝1,098,960円  中学年 190食×31人×244円＝1,437,160円  高学年 190食×43人×248円＝2,026,160円  中学生 190食×59人×304円＝3,407,840円</p>	R3.4	R4.3	7,949,309	7,949,309	7,949,309	事業完了	<p>小中学校児童生徒157人分  給食費 7,949千円  感染拡大による収入減・家計費高騰から子育て世帯の負担軽減につながった。</p>
7	保育所副食費全額免除	<p>コロナ禍による様々な要因から収入減少や在宅時間の増に伴う家計費の高騰等により、子育てを取り巻く環境は依然厳しい状況におかれている。そのため、3歳以上児を持つ子育て世帯に対し、副食費の助成を行い、家計費負担の軽減を図るもの。</p> <p>減免家庭を除く3歳以上児の副食費  4,500円/月×24名×12ヶ月＝1,296,000円</p>	R3.4	R4.3	1,233,000	1,233,000	1,233,000	事業完了	<p>3歳以上児24人分  副食費 1,233千円  感染拡大による収入減・家計費高騰から子育て世帯の負担軽減につながった。</p>
8	水稲種子購入助成事業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により外食産業などの業務用米需要が低迷し、全国的な米在庫量の増加で米価が下落しており、本町農業の主体である稲作経営に多大な影響を及ぼしている。今後も米主産地としての地域農業を維持するために水稲種子の購入に要する経費の一部を助成する。</p> <p>水稲面積10 a 当たり種子購入費用  10 a 当たり 1,050円×50%＝525円  2,033.0177ha×525円＝10,666,200円  ※個人ごとに100円未満切捨て</p>	R3.7	R3.10	10,666,200	10,666,200	10,666,200	事業完了	<p>農業者 148件分  助成総額 10,666千円</p>
9	新型コロナウイルス感染症対策緊急支援金	<p>北海道は令和3年5月16日から31日まで緊急事態宣言が発出され、さらに6月20日までの期間延長となった。時短要請、外出自粛等によって町内飲食業はもちろん、酒類販売業も経営に大きく影響を受けている状況にある。そこで著しく落ち込む飲食業等の今後事業を継続していくための事業資金として、一律20万円の支援金を補助する。</p> <p>飲食業 12件、酒類販売業 3件  15件 × 200,000円 ＝ 3,000,000円</p>	R3.6	R3.6	3,000,000	3,000,000	3,000,000	事業完了	<p>対象事業者15件  助成総額 3,000千円</p>
10	公共施設感染対策物品購入事業	<p>現在、感染対策物品の配置不足である一部施設へ固定式サーモカメラ及び利便性の高い手指消毒用のディスペンサーを配置することにより、施設利用者の対策意識を高めるとともに、施設管理者と利用者の接触機会の軽減を図る。</p> <p>サーモカメラ(非接触式体温検知器)  4台 × 49,000円 × 1.1 ＝ 215,600円  足踏み式ディスペンサー(手指消毒用消毒剤)  13台 × 19,500円 × 1.1 ＝ 278,850円  計 494,450円</p>	R3.6	R3.7	494,450	494,450	494,450	事業完了	<p>サーモカメラ 4台  足踏みディスペンサー 13台  感染対策の必需品を各公共施設に配置することができた。</p>

11	フィルタリングソフト整備事業	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大による臨時休校やリモートによる学習等、児童生徒の自宅においてもタブレット端末を活用して学習できる環境を整備するため、全ての端末にフィルタリングソフトを導入し、有害サイトへのアクセスを防ぐ。</p> <p>小学校 98台×1,800円×1.1=194,040円(ソフト使用料) 98台×1,500円×1.1=161,700円(設定費)</p> <p>中学校 59台×1,800円×1.1=116,820円(ソフト使用料) 59台×1,500円×1.1=97,350円(設定)</p> <p>合計 569,910円</p>	R3.7	R3.9	569,910	569,910	569,910	事業完了	<p>小中学校タブレット端末 157台分 有害サイトへのアクセスを防ぐことにより、 家庭学習等で自宅へ持ち帰り活用する環境が 整った。</p>
12	学校保健特別対策事業費補助金	<p>学校教育活動を円滑に進めるため、児童生徒をはじめ教職員等の感染防止対策に必要な となる物品(消耗品・備品)の購入を行う。</p> <p>小学校 (計 935,074円)</p> <p>シンク用ラック 45個×515円=23,166円 空気清浄機 1台×126,500円=126,500円 AT透明マウスガード 5個×901円=4,505円 オートディスペンサー 15個×2,280円=34,204円 ソープディスペンサー 60個×2,200円=132,000円 単水栓ハンドル 66個×3,960円=261,360円 薬用ハンドソープ 9個×3,608円=32,472円 手指消毒液ハンドスキッシュ 8個×3,586円=28,688円 ペーパータオル 6個×2,733円=16,401円 使い切り手袋 10個×627円=6,270円 じょうご 1個×580円=580円 角綿 1個×2,090円=2,090円 ベッドバット 1個×8,360円=8,360円 綿球容器 1個×1,298円=1,298円 ペダルダストボックス 15個×4,180円=62,700円 アルコールクリーナー 1個×42,592円=42,592円 除菌ウェットシート 10個×405円=4,048円 ミニキーボード 20個×6,600円=132,000円 教育本 1冊×1,320円=1,320円 非接触温度計 2個×6,050円=12,100円 オートディスペンサー(泡) 1×2,420円=2,420円</p> <p>中学校 (計 905,630円)</p> <p>空気清浄機 3台×126,500円=379,500円 ポータブルクーラー 6台×69,850円=419,100円</p>	R3.4	R3.11	1,840,704	1,840,704	940,704	事業完了	<p>集団生活を行う学校において、様々な感染対策を講じることができた。</p>

13	修学旅行中止に伴う支援事業	<p>小学校修学旅行を9月16日から1泊2日で洞爺湖方面を予定していたが、緊急事態宣言延長に伴い、キャンセル料が発生。また、中学校修学旅行も5月18日から2泊3日で箱根方面を予定していたが、緊急事態宣言により、キャンセル料が発生。さらにその後、9月22日から2泊3日に日程変更するも、目的地の感染拡大が収まらず日程・目的地変更による企画料金も発生。コロナの影響による保護者等の負担軽減を図るため、キャンセル料及び企画料金を負担するもの。</p> <p>③ 小学校キャンセル料 児童 31,800円×20%×20名=127,200円 教員 29,435円×20%×7名 = 41,209円 中学校キャンセル料 生徒 92,480円×30%×15名=416,160円 教員 91,300円×30%×5名 =136,950円 中学校企画料金 生徒 5,049円×15名= 75,735円 合計 797,254円</p>	R3.5	R3.12	797,254	797,254	797,254	事業完了	<p>小学6年生及び中学3年生保護者負担額 797千円軽減 緊急事態宣言によって中止となった修学旅行に対してキャンセル料を負担することにより、保護者等の負担軽減につながった。</p>
14	妹背牛町小規模事業者等緊急支援金	<p>北海道にも3回目の緊急事態宣言が発出され、それに伴い、再度飲食業は時短営業の要請を受け、関連する酒類販売業、タクシー業なども昨年から経営に大きな影響を受けている。また、感染拡大の要因となっているデルタ株の影響もあり、全体的に外出自粛となっていることから、町内商店についても大きく影響を受けているため、町内商店等が年末年始を乗切り、事業を継続していくための支援金として支給を行う。</p> <p>分類Ⅰ～飲食業、旅館業、酒類販売業、タクシー業 分類Ⅱ～分類Ⅰ以外の商業及びサービス業等の小売販売業、治療院、美容院などの商店</p> <p>分類Ⅰ 17件×200,000円=3,400,000円 分類Ⅱ 36件×100,000円=3,600,000円</p> <p>※年末に実施する理由 「国の一時支援金」若しくは道の「特別支援金」及び「緊急事態措置協力支援金」、「月次支援金」など、様々な国・道からの支援があるため、現段階では緊急性を要していない。しかし、緊急事態宣言解除後も、支援が必要な状態が続くため、支給時期を年末に設定した。</p>	R3.12	R3.12	7,000,000	7,000,000	7,000,000	事業完了	<p>対象事業者53件分 助成総額 7,000千円 緊急事態宣言による影響を受けた商店等への事業継続するための支援となった。</p>
15	町内ハイヤー事業者緊急支援金	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、飲食店の休業及び外出自粛等により、利用者の減少など大きな影響を受けた町民の交通手段である町内ハイヤー事業者に対して、事業の継続に向けた支援を行う。</p> <p>1運行事業者あたり100,000円 事業者が所有かつ運行している車両1台あたり50,000円 運行事業者 1件×100,000円=100,000円 所有かつ運行台数 7台×50,000円=350,000円 合計 450,000円</p>	R3.12	R3.12	450,000	450,000	450,000	事業完了	<p>対象事業者1件分 助成総額450千円</p>
16	深滝線及び北竜線運行事業者緊急支援金	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、外出自粛等により、利用者の減少など大きな影響を受けた地域幹線バスである深滝線及び北竜線を運行する事業者に対して事業の継続に向けた支援を行う。</p> <p>1運行事業者あたり100,000円 町内に停留するバス1便（平日）あたり50,000円 運行事業者 1件×100,000円 深滝線 24便×50,000円=1,200,000円 北竜線 10便×50,000円=500,000円 合計 1,800,000円</p>	R3.12	R3.12	1,800,000	1,800,000	1,800,000	事業完了	<p>対象事業者1件分 助成総額1,800千円</p>

17	妹背牛商店街機能維持並びに利用促進事業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛やイベント中止による減収等、商店街の核である町内唯一の食料品店の持続的な経営に向けて支援を行う。また、疲弊した商店街に対しても通常のセールを超えるポイント分について支援し、消費意欲の喚起並びに利用促進へとつなげていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品供給継続のため、新たに契約締結する条件である11月末までの買掛金決済支払い分 8,700,000円</li> <li>ポイントセール (1倍×11日+2倍×5日)×18,100円(R3実績) = 380,100円</li> </ul> <p>合計 9,080,100円 ※財源内訳：本交付金9,000,000円、商工会80,100円</p>	R3.11	R4.3	9,082,000	9,082,000	7,149,985	事業完了	町内唯一の食料品店を支援することによって、事業継続をし、コロナ禍を乗り越えることができた。
18	子育て世帯特例給付金	<p>国において実施した「令和3年度子育て世帯等臨時特別支援事業」において、所得制限により対象にならない世帯に対して給付することで新型コロナウイルス感染症の影響を受けている全ての子育て世帯を平等に支援する。</p> <p>充当額 3,900千円 対象児童1人につき100千円×39人=3,900千円</p>	R3.12	R3.12	3,900,000	3,900,000	3,900,000	事業完了	対象者39人 給付金総額3,900千円 国の支援対象から外れた39世帯に支援することにより、町内全ての子育て世帯に平等に支援することができた。
19	米価下落影響緩和対策助成金	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、外食産業が低迷し、全国的にコメの消費量が低下したことに伴い、米価が急激に下がった。そこで、本町の基幹産業である主食用米を生産している農業者の10a当たりの減収に対して、ナラシ対策等の自己責任負担分の50%分を助成し、今後も米主産地としての地域農業を維持する。</p> <p>1俵換算 R3 11,000円-R2 13,200円=△2,200円 △2,200円÷60kg=△36.6円(1kg当たりの減収) △36.6円×560kg(本町の単収)=△20,496円 △20,496円×10%(ナラシ等自己責任負担分)=△2,049円 2,049円×50% (助成率)≒1,000円/10a よって、主食用米及び備蓄米面積2,027.89ha 2,027.89ha×1,000円/10a≒20,279千円</p>	R4.1	R4.2	20,248,100	20,248,100	18,158,296	事業完了	農業者 147件分 助成総額 20,248千円
計					112,558,643	112,558,643	103,194,000		